

ありがとう  
ありがとう

# 「感謝と思いやりの心」 を育てよう

## はじめに

毎朝、交通指導に立つ地域の方に「おじさんおはようございます。毎日ありがとう。」と大きな声であいさつする小学生や、地域のために花を植えている人たちに「わたしも手伝うね。」と明るく参加する中学生の姿を見かけたことはありませんか。

私たちは、そんな「感謝と思いやり」の心をもった子どもたちが、学校・家庭・地域のどのようなかかわりの中で育ってきたのか、私たちの日々のかかわりが「感謝と思いやり」の心をはぐくむことにどのようにつながっているのか等について、意見を交わし、考えてきました。

大分県が「感謝と思いやり」の心をもった心豊かな子どもたちであふれてほしいとの願いをこめて、本協議会の参加者それぞれの取り組みを紹介するとともに、これから取り組むべき方向について、私たちの思いを記したこのリーフレットが、先生方の参考となれば幸いです。

平成20年3月

### 大分県道徳教育推進協議会

会 長	渡邊 忠美	元別府大学 教授
副会長	平松 徹夫	大分県青少年団体連絡協議会 会長
委 員	池内 晴一	大分県PTA連合会 副会長
	細川 唯	日本青年会議所大分ブロック協議会 会長
	植木 清則	大分県小学校教育研究会道徳部会 会長
	松原 幹夫	大分県中学校教育研究会道徳部会 会長
	三重野 進	佐伯市立上堅田小学校 校長
	佐藤裕一郎	竹田市立竹田南部中学校 校長
	池永 俊八	大分県 私学振興・青少年課 課長補佐
	中川 忠宣	大分県教育庁 生涯学習課 社会教育監
事務局	大分県教育庁義務教育課	

# 道徳教育、道徳の時間の充実に向けた取り組み

## 自他を大切にすることの成長を願って

## <研究指定校の取り組み>

### 佐伯市立上堅田小学校

本校では、道徳の時間の充実を中核におき、これまで積み重ねてきた体験活動の一層の充実と道徳の時間との効果的な関連や、児童の人間関係能力を高めるための研究に取り組みました。



「ありがとう」の意味について考えた4年生の授業

### 竹田市立竹田南部中学校

本校では、統合間もない学校の新たな伝統づくりをめざし、生徒一人ひとりのよさに目を向けた道徳の時間の在り方、総合的な学習の時間や特別活動と道徳の時間の効果的な関連についての研究に取り組みました。



親からの手紙に涙し、感謝した3年生の授業

## 共によりよく生きる子どもの成長を願って

## <道徳部会の取り組み>

### 小学校教育研究会道徳部会

小学校道徳部会では、毎年夏季及び冬季の2回研究集会を開催し、県内の先生方に道徳の時間の研修の場を提供し、道徳の時間の指導力の向上に努めています。

授業をもとに、真剣な議論が行われた研究協議



冬季研究集会：豊後高田市立草地小学校

### 中学校教育研究会道徳部会

中学校道徳部会では、地域を指定して、学校の課題や道徳教育に求められている課題について研究し、その成果を公開発表することで、道徳教育の充実にも努めています。

命の大切さについて話し合った1年生の授業



授業研究会：杵築市立大田中学校

**提言1** 「感謝と思いやり」について、道徳の時間で子どもと一緒に考えよう。

◇ 「感謝と思いやりの心」を深く見つめましょう。

◇ 道徳の授業の中で、子どもと語り合い、一緒に考えましょう。

◇ 人材活用をすすめ、その生き方、考え方に学びましょう。

道徳の時間に子どもと一緒に考えよう

# 地域社会とのかかわりの中で、子どもたちの心をはぐくむ体験活動の取り組み

## 仲間と力を合わせ、支えあい、自ら考えて行動できる子どもの成長を願って 〈大分県青少年団体連絡協議会の取り組み〉

私たちの団体は、子ども会やスポーツ少年団など、多くの青少年団体で構成された協議会で、県内の約58,000名の青少年が参加しています。

私たちは、毎年大分県とともに、「大分県少年の船」を運営していますが、参加する仲間はほとんどがボランティアで、土・日に開かれる6回程度の事前・事後研修会、4泊5日の本研修に真剣に取り組んでいます。そのエネルギー源は、本研修の中で日々変わっていく子どもたちの姿です。初日は、何となくよそよそしい班の関係が、最終日には班長の高校生、副班長の中学生、団員の小学生みんなが涙して別れを惜しむ姿に変わります。

一つひとつの体験は小さなものかもしれませんが、5日間にわたる小さな感動、実感の積み重ねが、子どもたちの大きな変容につながっていると思います。



班で力を合わせて！：マリニック



お別れは涙でいっぱい：解団式



ありがとうの思いを込めて：清掃活動

## 郷土のすばらしさを感じ、自然への感謝の心をもった笑顔あふれる子どもたちを 〈日本青年会議所大分ブロック協議会の取り組み〉

私たちは、時代を担う子どもたちが、自分の生まれ育った郷土を愛する人に、豊かな自然に感謝できる人に育ってほしいと願い、各地域におけるわんぱく相撲のサポートやアニメ「学（まなぶ）の夏休み」を活用した出前講座、自然の中でのキャンプなど、様々な活動に取り組んでいます。



みんなでアニメ「学」の夏休み」を視聴して、

感想や自分の考えを出し合い、自然の大切さや地域の残る伝統文化について話し合いました。



アニメ「学」の夏休み」を活用した出前講座の様子

## 提言2

「感謝と思いやり」の素晴らしさを実感できる体験活動を充実させよう。

◇ 「感謝と思いやり」の素晴らしさを体験活動の中で実感させましょう。

◇ ボランティア活動や地域の伝統行事に積極的に参加しましょう。

◇ 一つひとつの体験活動を大切にしましょう。

実感できる体験活動にしよう

# 学校・家庭・地域が連携した取り組み

## 「思いやり」を大切に子どもを育てるために <県PTA連合会の取り組み>

子どもは大人を鏡に映した姿だといいます。ですから、子どもたちに「思いやり」の心を育てるためには、私たち大人が「思いやり」の心で子どもたちや周囲の人たちに接する必要があります。

中津市立今津小学校では、「『思いやり』を大切にする今津っ子づくり」をテーマに、学校・家庭・地域の三者が一体となって、大人と子どもと一緒に活動する中で、人・物・自然の大切さを共に考え、感じ、行動してきました。そこには、人・物・自然の大切さを教えようとする大人の姿ではなく、共に学び、共に生きようとする大人の姿があったと思います。また、その姿こそが、今私たち大人に求められていることではないのかと考えます。

子どもたちに大人気の読み聞かせ  
由布市の取組



学校

家庭

「協育」ネットワーク

地域

竹馬ならおれたちに任せろ  
日田市の取組



親子で一緒に料理づくり  
由布市の取組



「感謝と思いやりの心」は、人と接し、かかわる中ではぐくまれていくものであり、その大きな場が地域だと思えます。

地域には、「学校に協力したい」と声が掛かることを心待ちにしている多くの人たちがいます。地域の人たちに教育活動へ参加していただいた学校は、教師では教え、伝えることのできない知恵や技だけでなく、人としての生き方や温かさなども含めた人間としての魅力にふれさせることができたと話しています。

学校を支える力強いサポーターとして、子どもたちの身近に生活する人たちの協力を日常的・継続的に得るために、学校・家庭・地域の「協育」ネットワークをつくることが求められています。

## 「協育」ネットワークの構築をめざして <県教育委員会の取り組み>

提言3

「感謝と思いやりの心」を家庭や地域とともに育てよう。

- ◇ 私たち大人から具体的な取り組みをしましょう。
- ◇ 地域の人たちにも学校サポーターとして協力してもらいましょう。
- ◇ 学校から家庭や地域に、積極的に情報発信しましょう。

家庭や地域と力を合わせよう